



ほけんだより 12月

2018年12月
沼津中央高校
保健室発行

平成30年度「世界エイズデー」のキャンペーンテーマ

UPDATE！エイズ治療のこと HIV検査のこと

HIV/エイズに関する取組は、大きな転換期となっています。HIVに感染してもいち早く治療を開始すれば、エイズ発症を防ぎ、他の人への感染リスクが大きく低下することも確認されています。進歩するエイズ治療の現在とHIV検査の重要性を伝えるには、知識のUPDATE(更新)が必要です。それがHIV検査のいち早い受検につながり、エイズのまん延を防ぎます。



エイズはどんな病気？

エイズとは、「HIV(ヒト免疫不全ウイルス)」の感染で引き起こされる「後天性免疫不全症候群」を略した言葉です。HIVによってからだの免疫が低下し、その結果、健康な時には体内に入っても病気を起こさない弱い病原菌にも感染(日和見感染)して、さまざまな症状が出た状態をいいます。



どうやって感染するの？

平成29年(2017年)には、HIV感染者 976 件、AIDS患者 413 件、合計 1389 件が報告されました。感染経路別では、性的接触による感染(HIV感染者 87.9%、AIDS患者 78.7%)が多数を占めました。

HIVは、主に血液、精液、膣分泌液を介して感染します。感染経路は、**性行為感染 母子感染 血液感染** の3つに限られます。

感染力が非常に弱く、学校・職場等の日常生活では感染しません。



(厚生労働省「平成29年エイズ発生動向」より)

予防方法 HIV感染は予防できます！

- ➡ HIVを含む多くの感染症は性的接触により感染します。若すぎる時期の性的接触は心身にトラブルを起こしやすいので、性的接触をしないという選択肢も考えてみましょう。
- ➡ 母子感染については、妊娠前又は妊娠中のできるだけ早い時期に感染の有無が確認できれば、出産前後の適切な医療により、子どもへの感染率を低下させることができます。
- ➡ 血液感染を防ぐためには、血液が手や衣服などについたら流水と石けんでよく洗い流しましょう。また、カミソリや歯ブラシ、ピアスなど血液がつく可能性のあるものは共用しないようにしましょう。